

夏季休業中の研修報告

校長 高橋 昌樹

本校では、今年度も夏季休業中に、本校教員を対象とした研修を集中的に実施いたしました。「人権尊重教育」「ICT教育」「学習指導」を主なテーマに7講座を設定し、大学教授、教育研究機関の方など、7名の講師にご講義いただきました。研修の目的は、人権教育を進める上で共通の考えや認識をもつこと、特別支援教育の基礎・基本を習得すること、ICT教育の最新の技術を身に付けること、特別支援教育の専門性を更に向上させることです。

「人権尊重教育」は、東京都立大学の村松健司教授と共立女子大学の木村秀准教授にご講義いただき、人権の基本的な考え方や子供の権利、人権を尊重するため教員間や施設との連携について学びました。また、約半年間行ってきた人権尊重教育に関する研究の中間発表を行い、これまでの研究の成果と今後の取組を全教員で確認いたしました。

「ICT教育」は、元都立特別支援学校の教員で、現在はICT教育に関する一般社団法人を立ちあげられた海老沢穰先生をお招きし、タブレット端末のアプリケーションを活用したデジタルクリエーションのワークショップを開催しました。参加した教員たちは、自身の授業でのヒントや閃きを得ていました。2学期以降、ICTを活用した授業につなげていきます。

「学習指導」は、外部専門員としてもお世話になっている宮城武久先生と宇川和子先生に単語構成の学習の指導技術を学び、富岡康一先生からは、発達段階や障害特性に基づいた指導方法について学びました。また、「教材発表」では、全教員が自作の教材を持ち寄り、一人一人の児童・生徒の実態や能力に合った教材を発表し合い、工夫した点や効果などを共有しました。

研修で培った専門性を生かし、2学期も児童・生徒が自身の能力を最大限に伸ばすことができるよう、個別最適な学びを展開していきます。今回、一部の講座には、のびろ学園の職員さんもご参加いただきました。今後、学校と施設とで一貫した指導につなげていければと思います。

とうきょう総文 2022 で「じゃが芋を販売」

7月31日(日)に東京国際フォーラムにて、第46回全国高等学校総合文化祭東京大会(とうきょう総文2022)の総合開会式が、秋篠宮皇嗣同妃両殿下、悠仁親王殿下をお迎えして行われました。その会場で、本校も含めて5校の特別支援学校が物品販売を行いました。本校は、畑で栽培し、皆で袋詰めしたじゃが芋30kg(30袋)を販売しました。当初は高等部から2名の生徒が参加する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、教員のみでの参加となりましたが、会場では江東特別支援学校の高等部の生徒たちが、しいの木のじゃが芋販売を手伝ってくれました。しいの木の畑で立派に育ったじゃが芋は、多くの方に好評を得て、みごとに完売しました。本校の生徒も参加できていたら、素晴らしい体験学習の機会になったことと思います。

(文責：伊丹 聡)



10月の予定		
1	土	都民の日 宿泊防災訓練(高2、高3)
2	日	
3	月	
4	火	
5	水	発達相談
6	木	眼科精密検査
7	金	校外学習(小)、修学旅行(小)
8	土	
9	日	
10	月	スポーツの日
11	火	
12	水	しいの木集会
13	木	特体連陸上大会
14	金	校外学習(高2)
15	土	
16	日	
17	月	
18	火	
19	水	
20	木	
21	金	避難訓練
22	土	
23	日	
24	月	
25	火	小・中学部交流体験学習
26	水	楨の実特別支援学校保護者見学会
27	木	短縮授業日 13時50分下校
28	金	保護者通信発送日
29	土	
30	日	
31	月	

小学部

2学期がスタートしました。小学部の子供たちは、元気に登校し、久しぶりに会う先生と一緒に遊具で遊んだり、教室で好きな音絵本を聞いたりして楽しく過ごしています。まだ暑い日が続いていたため、9月に入ってからもかき氷や金魚すくい、和太鼓など、夏のイベントを楽しみました。子供たちは、自分から席に座って順番を待ち、自分の番になると前に出て一人で活動に取り組むことができました。興味・関心があるため、教材が見えると目を輝かせていました。10月には校外学習・修学旅行があります。行先は「こどもの国キッズダム」です。校外学習・修学旅行では、楽しく安全に行動できるように、事前学習をしっかりと行っていきます。2学期も一人一人の成長が見られる学習を心掛けていきたいと思います。



(文責：山田 麻衣)

中学部

夏季休業中に余暇活動を実施しました。生徒は、久しぶりの登校で元気いっぱい2時間があっという間に過ぎました。プレイルームでは、追っかけっこ、台車乗り、教員と一緒に遊ぶなどを行いました。音楽室では、和太鼓、パネルシアター、鑑賞、リトミックなどを行いました。皆、良い表情で楽しく参加ができました。

9月1日の始業式では、自席で校長先生の話の聞き、2学期が始まった緊張感を味わいつつ、期待を抱いている様子でした。2学期も生徒が成長できる活動、授業を行ってまいります。



(文責：江口 太郎)

高等部

8月29日(月)にのびろ学園、30日(火)に千葉福祉園の生徒が登校し、余暇活動を行いました。始業式を待たずに学校に来た生徒たちの笑顔を見ると、学校の開始を心待ちにしているのだと感じました。

9月1日(木)の始業式後には高等部の学部集会を行いました。出産のためにお休みになる松本先生に代わって高等部に入る石田先生の紹介や、2学期の主な行事、学校生活を見直すために「高等部の約束」の再確認をしました。今年度は、しいの木祭を2月開催に変更したので、2学期中にじっくりと準備することができます。しいの木祭の生徒実行委員決めは、例年立候補者の中から選挙で決めています。今年は普段の授業の中で主権者教育を取り上げ、そのうえで実行委員選挙を実施します。学校生活の中でも、自分の意見を表明する機会を大切にしていきます。(文責：古山 武)



